

挑む私学

3年後の創立100周年に向け、スピード感を持って改革が進む神戸山手女子中学校高等学校



神戸山手女子中学校高等学校

1924年創立の神戸山手女子中学校高等学校（神戸市中央区）は昨年、学校法人濱名学院（兵庫県尼崎市）と合併をおこなった。そして本年4月には、学校改革で数々の実績を残してきた平井正朗氏を校長に迎え、大胆に生まれ変わろうとしている。創立100周年に向けて動き出した、同校の取り組みに迫った。

校改革に着手した。

具体的には、定期考査・模試分析会、公開授業、中学入試の大幅変更、予備校講師による特別講座の拡大、「データ・サイエンス部の新設、AI教材をベースにした個別最適化学習など、**学びの選択**」を可能にした。「校長ブログ」がほぼ毎日更新され、校長自ら毎朝、校門で生徒を出迎え、校内を見回っている。そのスピード感や現場主義、改革にかける意気込みは早くも校内に浸透しており、教員からは「挨拶を返してくれる生徒が増え、表情も明るくなったと思います」などの声があがっている。同校の教職員は協力的だ。これまで大学合格実績の向上や志願者・入学者の大幅増など、確かな実績を

授業改善とめざす方向性

同校では、「働き方改革」にも配慮して、OJT（On The Job Training）を通じた授業力と生徒満足度の向上につながる取り組みを実施している。例えば、定期考査分析会。教員は各自で授業のビデオ撮りを行い、定期考査分析表と授業録画をチェック、リフレクションを行い、教科主任は検証結果をまとめて会議で発表。効果が上がった取り組みは箇条書きし、学校全体で共有できる資料にしている。興味のある事例があれば、校内にいる「お手本」から直接、助言をもらえる仕組みが作られている。

また、生徒や保護者を対象にシラバスを公開し、「開かれた学校づくり」を進めている。ある教員は「今までの停滞ムードから、一歩でも前へ進もうという雰囲気になっただけ」と明るい表情を浮かべる。改革推進するにあたっては、法人本部に加えて、卒業生のバックアップも大きく、約6万人を擁する「友松会」の全面支援を得て、名門校復活への手ごたえを感じているという。

授業改善の目的を平井校長は「リアルな社会的課題の解決に向けて、必要とされる学びを深めながら本質を捉え、既成概念にとらわれない着眼点を伸ばすための学習者自律の姿勢を養うことが肝要。大切なのは、社会に役立ちたいという高

スピード感と現場主義で早くも生徒の心をつかむ

神戸市中央区のJR「元町駅」から、坂道を登ること十数分。美しい景観のなかに白とクリームが印象的な、神戸山手女子中高の校

舎が見えてくる。かつては名門女子校として世間の認知度は高かったが、近年は生徒数が減少傾向にあり低迷が続いていた。そうした状態を脱しようとして、本年度からは平井氏を校長に迎え、抜本的な学

他者への貢献に喜びを感じ、心優しい女性を育成し

正解のない問いに向かう「未来探究コース」を新設

「そして、**生徒ファースト**」を基調とし、これまでの本校の特色である面倒見のよさを「チーム」として結集、

改革では進路指導方針やコース・コンセプトの明確化もおこなっている。2021年より中学は「**未来探究コース**」のみに一本化した他、高校の普通科にも「未来探究コース」を新設した。進路指導方針として、「生徒一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出し、生徒一人ひとりに『学力の伸び』を実感させる指導を展開した上で、より高い志望をもたせ、本当に進みたいと思う進路先を探究、夢を実現させること」としている。コース・コンセプトとして、中学は「大

こと、高校の選抜コースでは、中堅国公立、関関同立、未来探究コースでは高大連携教育を充実させている関西国際大学や有名私大（指定校推薦を含む）、音楽科（演奏専攻・音楽総合専攻）（国公立）芸術大音楽大等への進学とした。学習方法もEdTechを活用したアダプティブラーニング（個別最適化学習）を進め、各教科の推進プロジェクトを加速させている。英語科は音読重視でディベートへ、数学科はAI教材導入や「医歯薬系対策」、国語科は朝読・ピリオパバトルの全校実施と高大連携、理科は関西科学塾・青少年科学の祭典への参加、インガメの保全活動と研究、社会科はNIE

今年度の説明会にはこれまで以上の塾関係者が参加

平井校長と云えばカリキュラム・マネジメントによる組織改革が有名。個別最適から全体最適に向けて目標管理制度の導入や「働き方改革」に伴う校務の効率化など、短期間で「**チーム学校**」にまとめあげてベクトルをひとつにして一つの目標につきすすむ手腕がいかに発揮されている。広報担当の教員は「目標が明確になり、一体感が生まれています」と語る。

者になるなど、期待値は高まっているようだ。3年後の創立100周年を迎えた際にはどのような姿になっているのか、今から非常に楽しみである。



平井正朗 校長

学院の教育ミッションである**Communication**（対話、伝達）、**Consideration**（熟慮、考察、思いやり）、**Commitment**（参画、貢献）の「3C」に直結させます。その上で、グローバルの視点に立ち、積極的な社会・

学入学共通テスト」で80%以上得点するための5教科の基礎・基本を身につける

わすか3か月で学校内やOGの意識に変化をもたらした平井校長。学習塾対象の入試説明会においても近年において過去最高の参加

プ活動においても「**全クラ**」を奨励し、現在約8割が参加している。



より効果的に、生徒一人ひとりに学力の伸びを実感させていく

敏腕校長による抜本的な改革で名門復活を目指す